

# 「きれいになったね」 報尽碑修復及び周辺整備事業終わる

報尽碑に至る市道が整備されたのに続いて、報尽碑修復及び駐車場などの周辺整備も、このほど終わりました。

この事業は真宗大谷派高田教区の人たちが親鸞聖人ご流罪800年記念事業の一環として進めてきたもので、事業費は約650万円。この事業で、報尽碑の位置がこれまでより、南側に移されました。碑がある広場には明治16年3月12日の雪崩事故の模様などが書かれた看板（写真）も設置されました。また、段差があった駐車場はきれいにアスファルト舗装されましたし、碑に至る階段の中央には手すりが設置されました。

高田教区では来月10日午前10時から

現地で修復法要を行うことになっていきます。本山からは熊谷宗務総長など2名がこられ、木浦市長、小林教育長なども参加の予定です。

## 東京荒川区議会議員が地震の見舞いと調査に

吉川町時代から友好関係にある東京都荒川区。中越沖地震の際には、直ちに給水車の派遣をしていただきました。

その荒川区の竹内区議会議員が見舞金を持参して13日午後から上越市に來られました。14日の午前には、吉川区総合事務所を訪問、佐々木所長などに見舞いの言葉をのべられました。

また竹内議長は佐々木所長から被災状況などについて説明を受けた後、被災した家屋や農業集落排水の管路被害状況を視察しました。

同議長は地震時の通信手段やライフライン維持



「こんな歴史があるとは知らなかった」と、初めて訪れた地元出身者も看板に見入っていました。（17日、撮影）

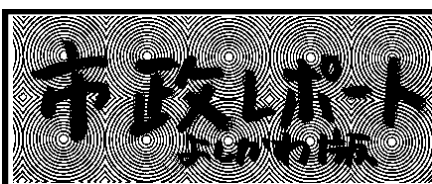


山方地内で農業集落排水管路の被害状況を視察する竹内議長（右側）など。左は佐々木所長と私。

に強い関心を持ち、「荒川区とは違うところがわかった。自分のところはどうするか真剣に考えなければ」と話していただきました。被害状況の視察には私も立ちあい、説明させていただきました。

震災復興などをテーマに一般質問します。1日の夕方か2日の午前10時過ぎになる予定。ケーブルテレビ11チャンネルで放映されます。ご覧ください。

11日午後5時現在の建物被害状況	住家				非住家				
	被災世帯数	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊
	世帯	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟
合併前上越市	101				101	6		2	72
安塚区	22				22	2		1	6
浦川原区	100	1		2	97			2	54
大島区	36				36				4
牧区	59			2	57				7
柿崎区	1241	9		30	1199	142	10	51	410
大潟区	43				43			3	39
頸城区	151	1		2	148	48	1	6	126
吉川区	632	2		14	617	100	15	57	331
中郷区	0								
板倉区	3				3				1
清里区	1				1				1
三和区	247	1	1	2	243	36	9	9	108
名立区	17				17				7
合計	2653	14	1	52	2584	334	35	131	1166



NO 1313  
2007.9.23

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪法一  
Tel 548-3628 (有線) 4867  
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
URL http://www.hose1.jp/

# 春よ来い 第八四回 ラジオ深夜便

深夜、ふと目がさめてしまう。そんな時、あなたはどのようにしていますか。敬老の日、深夜のラジオ放送を楽しみにしているという人から興味深い話を聴きました。ラジオがとて面白い。気持ちをやさしくしてくれて、ゆったりした気分になれることができるというのです。

「いやー、いいもんだね」そう言いながらラジオの良さを教えてくれた人はHさん、七〇代後半です。いま、NHKのラジオ深夜便にはまつています。Hさんが一番楽しみにしているのは午前三時から始まる「にっぽんの歌」の歌。約一時間の放送の中で紹介される曲は、戦前、戦中、戦後の歌謡曲です。いずれもHさんの歩んできた人生と重なるものばかりです。流れてくる曲は、市販されている懐かしのメロディだけではありません、レコードのB面扱いだった曲もある。アナウンサーがよく調べておいて、歌手のことや曲の紹介もやってくれる。さらには、その曲にまつわるお便りも紹介される。とても心地よいと言っておられました。

びっくりしたのは、Hさんが気に入った放送をすべて録音していることでした。本棚の片隅には、録音したMD（光磁気を使った記憶装置）が何と四九個も並んでいます。もう一個でちょうど五〇個になるとか。

試しに少し聴いてみたくになりました。「明るくちや、ちよつとムードはでないけどね」そう言って聴かせてもらったのは、録音したMDの中でも最も新しい九月一日の放送でした。スイッチを入れると男性アナウンサーの声が静かに流れてきます。「三時六分を少しまわりました。三時台は『にっぽんの歌』、今回は津村謙と鈴木三重子の真夜中の夢の競演です……」。

紹介された曲は『流れの旅路』『愛ちゃんはお嫁に』『上海帰りのリル』など、いずれも戦後の曲です。この頃の歌謡曲は、どういうわけか小さな子どもたちの耳にも残るものでした。「さようなら さようなら 今日限り 愛ちゃんは太郎の 嫁になる」『リル リル どこにいるのかリル』などといった歌詞は私もすっかり記憶しています。「上海帰りのリル』は私が二歳の頃の歌、長くヒットしたのでしようね。

こうした曲をバックにHさんは、いろんな話をしてくださいました。「津村謙は『座頭市』の勝新太郎と酒飲み友だちだったんだ。運が悪かったんだらうね、酒飲いで、車庫の中で車のスイッチ切らないで寝てしまったんだ。気の毒に」。これは放送で知った話でした。終戦前後の思い出も出てきます。「吉川高校（当時は農林学校）の農場へ行こうとした時に、アメリカのグラマン戦闘機がやってきて、操縦士の顔まで見えて怖かった。あわてて水肥小屋の陰に隠れたわね」「黒井の空襲があった日（一九四五年五月五日）、爆撃をした飛行機B29が原之町上空を飛んで行った。いきなり急降下したかと思ったら、ドーン、バリバリ。ガラスが揺れた。あれが空襲だったんだね」。Hさんの話は、長岡空襲の時に北の空が真っ赤になったことなどへと続きました。

Hさんの十代後半から二十代は戦争と重なる激動の時代でした。「やっぱり、青春時代の歌がいいね。一緒に歌えるし、いろいろな思い出が浮かんでくるもん」そういうHさんですが、「にっぽんの歌」は布団の中でウトウトしながら聴いています。それが一番いいのだそうです。Hさんの録音したMDは、なつかしい曲だけでなく、ご自身の思い出も保存するものとして百枚、二百枚と続くことでしょう。

## 高負担、年金天引きの後期高齢者医療制度は凍結を！

75歳以上の人を対象にした「後期高齢者医療制度」が来年4月から始まろうとしています。制度の仕組みを知った人たちは、この制度の実施の凍結と見直しを求めています、当然です。

現在、国保や健保に加入している人は脱退させられ、自動的にこの制度に組み入れられます。これまで所得が少ない人や子どもの扶養家族として健保に加入している人は保険料を払う必要はありませんでしたが、新しい制度では、75歳以上の方はすべて保険料を払わなければなりません。しかも、年金額が月1万5000円以上の人の保険料は年金からの「天引き」となります。

上越市民の保険料の額は、まもなく開かれる新潟県後期高齢者医療広域連合議会で決められます。これまでの政府試算では、全国平均で月6200円、1年あた

り7万4400円にもなります。介護保険料も年金からの「天引き」ですから、負担は大きく増えて、暮らしを直撃することになります。

国保に加入している65歳から74歳までの「前期高齢者」も保険料は年金からの「天引き」です。

なお、年金額が月1万5000円未満の方は、窓口で保険料を納付することになります。

## 保険料払えない場合は保険証取り上げ

これまで、75歳以上の人に対しては、保険証取り上げは禁止されてきました。人道的な配慮からです。こんどはそれをやめて、75歳以上であっても、保険料を滞納した場合は、保険証を取り上げ、「資格証明書」を発行するということになっています。「資格証明書」だと、医療費の10割をいったん窓口で払わなければなりません。やめてほしいですね、こういうのは。

左の写真はキュウリとスイカの皮の漬物。大岩にて8月25日撮影。

## 住宅の耐震診断助成、25件追加へ

市では、木造住宅の耐震診断の助成（1件につき5万円の助成）を25件分、追加する方向を示しています。

受付は10月5日以降となる見込みです。これまで25件分の予算でしたが、中越沖地震で住宅の耐震化に対する関心が高まり、新たに25件分追加する予定に。

